

フィジカルアセスメント

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 10.5 時間 演習 12 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

健康状態の把握に関する情報を収集するために必要な人体の構造と機能・観察技術(問診・視診・触診・打診・聴診)について、講義と演習を通して学ぶ。また、観察した結果から対象の健康状態と看護ケアを考える過程を学び、看護におけるフィジカルアセスメントの重要性について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

人体の構造と機能を理解した上で授業に臨み、講義の他、視聴覚教材やシミュレーター、学生間での観察を通して、問診と視診・触診・打診・聴診の技術を用いて、系統別に身体の健康状態を査定することができるようになる。事例では、対象に必要な観察は何かを考え、その結果から対象の状態をアセスメントし、必要な援助を考えることができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. フィジカルアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価について説明できる。
2. 観察から得られた情報に基づいて、対象者に起こっていること・起こりうることをアセスメントし、必要な援助を考え、記録することができる。
3. 基本的なフィジカルアセスメントの技術を、正確かつ安全・安楽に実施できる。
4. 演習で経験するフィジカルアセスメントの技術修得に向けて主体的に行動することができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、 (矢) マルチ 4-A 講義室
 (矢) マルチ 2-A 実習室、 (矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
10/23 (月) 3 限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	フィジカルアセスメントとは 身体計測 ・看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を述べるができる ・フィジカルアセスメントの基本技術(問診・視診・触診・打診・聴診)を説明できる ・身体計測の目的と方法を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p2~33 フィジカルアセスメント総論・身体計測について読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
10/23 (月) 4 限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	頭頸部と感覚器のアセスメント ・頭頸部と感覚器のフィジカルアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p84~99 頭頸部のアセスメントについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
10/25 (水) 1 限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p84~99 頭頸部のアセスメントについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
11/6 (金) 3 限	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師	循環器系のアセスメント ・循環器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p138~169 循環器系のアセスメントについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
11/6 (金) 4 限	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p170~188 腹部のアセスメントについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する

11/13 (月) 3限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・脳神経系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p226～325 脳・神経系のアセスメントについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
11/13 (月) 4限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・筋骨格系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p326～353 筋・骨格系のアセスメントについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
10/30 (月) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	頭頸部と感覚器のアセスメント ・頭頸部のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【事前学修】 ・頭頸部・口腔フィジカルイグザミネーションのチェックリストを確認する 【事後学修】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
10/30 (月) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書 p122 胸部の打診、p129 聴いてみよう正常呼吸音、p131 聴いてみよう連続性副雑音、p132 聴いてみよう断続性副雑音、p133 呼吸音の聴診について掲載されているQRコードを読み込み、視聴する 【事後学修】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
11/10 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	循環器系のアセスメント ・循環器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書 p153 心音Ⅰ音・Ⅱ音、p158 収縮期雑音、拡張期雑音、p161 心音の聴診について掲載されているQRコードを読み込み、視聴する 【事後学修】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する

11/10 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書 p178 腹部全体の視診、p183 腹部全体の打診、p187 腹部全体の触診について掲載されている QR コードを読み込み、動画を視聴する 【事後学修】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
11/17 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・脳神経系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書 p248 眼球運動の観察、p250 瞳孔・対光反射の観察、p280 バレー徴候の観察（上肢）、p281 バレー徴候の観察（下肢）の評価について掲載されている QR コードを読み込み、動画を視聴する 【事後学修】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
11/17 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・筋骨格系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書 p347 徒手筋力検査、p349 MMT の評価について掲載されている QR コードを読み込み、動画を視聴する 【事後学修】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
11/20 (月) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・提示された事例の対象に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何かを列挙することができる ・提示された事例の対象に必要なフィジカルイグザミネーション実施することができる
11/20 (月) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・提示された事例の対象に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何かを列挙することができる ・提示された事例の対象に必要なフィジカルイグザミネーション実施することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	2019
参	根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント	清村紀子 工藤二郎編集	医学書院	2014

・ 成績評価方法

筆記試験 70 点、技術到達度の確認・演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする

*技術到達度の確認は評価表に基づき評価する（配点 30 点）

*演習への取り組みは、以下の内容とする

- ・ 演習前の事前課題・事後課題の記載内容の不足は、1 回につき 1 点減点
- ・ 最終期限までに課題の未提出がある場合、1 回につき 3 点減点
- ・ 演習では援助者として必要な身だしなみの準備（指定した服装、爪を短く切る、髪をまとめる、上履きあるいはナースシューズの準備、名札を着用する等）が必要となるため、演習時に数回にわたりチェック表を用いて確認する。指導後も 4 回以上不適切な準備が見られた場合は 3 点減点。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・ シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む。教科書だけでなく、“e ナーストレーナーの動画”または、“WebClass にあげた動画”の視聴覚教材を活用し、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加する。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。
- ・ 看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。
- ・ 授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・ レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。
- ・ 課題の解説・演習後の質問の回答（必要時）を WebClass に掲載する。
- ・ 「技術到達度」の評価は、評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 基礎看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	フィジカルアセスメントモデル “Physiko”	6	呼吸音・心音の観察
演習	呼吸音聴診シミュレーター “ラング II”	6	呼吸音の観察
演習	万能型看護実習モデル “八重”	12	腹部の観察
演習	ペンライト	12	口腔内の観察,対光反射の観察
演習	瞳孔計	12	瞳孔の直径の測定